



#3 1-24-01  
Priority papers  
P/2291-90

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Motoshi Tanaka

Serial No:09/679,969

Filed:October 5, 2000

Date: October 31, 2000

Group Art Unit:

For: PHONE NUMBER TRANSMISSION BETWEEN TELEPHONE DEVICES

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

CLAIM TO PRIORITY

Sir:

In accordance with 35 U.S.C. §119, Applicant confirms the request for priority under the International Convention and submits herewith the following document in support of the claim:

Certified Japanese Registration No.

11-285631 Filed October 6, 1999

RECEIVED  
JAN 24 2001  
Technology Center

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the U.S. Postal Service as first class mail in an envelope addressed to Commissioner of Patents and Trademarks, Washington, D.C. 20231 on October 31, 2000 :

Respectfully submitted,

Steven I. Weisburd

Name of applicant, assignee or  
Registered Representative

Signature

October 31 2000

Date of Signature

Steven I. Weisburd

Registration No.: 27,409

OSTROLENK, FABER, GERB & SOFFEN, LLP

1180 Avenue of the Americas

New York, New York 10036-8403

Telephone: (212) 382-0700

SIW:dr1

02679969

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

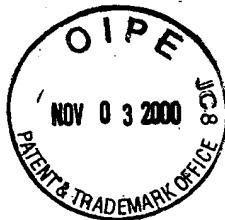
1999年10月 6日

出 願 番 号  
Application Number:

平成11年特許願第285631号

出 願 人  
Applicant (s):

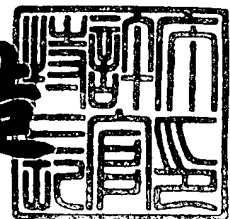
日本電気移動通信株式会社



2000年 9月22日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3078136

【書類名】 特許願

【整理番号】 13103474

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04M 1/56  
H04M 1/57

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目 1 6 番 8 号 日本電  
気移動通信株式会社内

【氏名】 田中 資士

【特許出願人】

【識別番号】 390000974

【氏名又は名称】 日本電気移動通信株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097157

【弁理士】

【氏名又は名称】 桂木 雄二

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 024431

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9303562

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電話番号の照会機能を有した携帯電話装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 データを記憶する受信データ記憶部を含み構成され、

通話中に通話先の携帯電話装置が電話番号データとして送信した電話番号を受信すると、使用者の操作を介さずに前記受信データ記憶部に電話番号データとして記憶し、受信データ記憶部に記憶された前記電話番号データにより発呼が行えることを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 2】 使用者が携帯電話装置を操作するキー入力部を有し、

携帯電話装置が通話中に使用者がキー入力部から入力した電話番号を電話番号データとして通話先の携帯電話装置に送信することを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 3】 使用者が携帯電話装置を操作するキー入力部と、

携帯電話装置に各種状態や受信情報などを表示する表示部と、

使用者が音声を入力するためのマイクと、

を有する携帯電話装置において、

使用者が前記マイクに入力した音声を文字データに変換するための音声認識部を具備し、

使用者が音声入力した電話番号を音声認識部で電話番号データに変換し、前記電話番号データを通話先の携帯電話装置に送信することを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 4】 使用者が携帯電話装置を操作するキー入力部と、

携帯電話装置の各種状態や受信情報などを表示する表示部と、

電話帳として用いる電話番号データが記憶されたメモリダイヤル記憶部と、

を有する携帯電話装置において、

通話中に所定の操作により、前記メモリダイヤル記憶部に記憶された電話番号データを呼び出し、この電話番号データを通話先の携帯電話装置に送信することが可能なことを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 5】 電話番号データが記憶されたメモリダイヤル記憶部を含み構成され

通話中に所定の操作により、前記メモリダイヤル記憶部に記憶された電話番号データを呼び出し、この電話番号データを通話先の携帯電話装置に送信することが可能なことを特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載された携帯電話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は携帯電話装置に関し、とくに通話中に番号通知をおこなう機能を有した携帯電話装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

通話者（I）と通話者（U）が携帯電話を用いて通話をしている時、通話者（U）が通話者（I）に対して第三者（A）の電話番号を問い合わせる場合がしばしばある。通話者（I）の携帯電話装置のメモリにはこの第三者（A）の電話番号が記憶されているものとする。このような場合でも、従来の携帯電話装置では、通話者（I）の携帯電話装置が通話に使用中のためメモリ呼出を行うことができない。従って、通話者（I）はわざわざ携帯電話以外の他の媒体から電話番号を調べなければならず、電話番号を通知するのに大変手間がかかるという問題があった。

【0003】

このような問題を解決する手段が、特開昭 5 9 - 2 2 8 4 5 4 号に開示されている。特開昭 5 9 - 2 2 8 4 5 4 号によれば、携帯電話が通話中でも携帯電話装置のメモリ呼出を可能にし、携帯電話のメモリに記憶されている電話番号を参照することを可能にした。通話中でも携帯電話のメモリ呼出を可能としたことで、電話番号の問い合わせを受けた通話者（I）は第三者（A）の電話番号を容易に調べることができ、携帯電話に記憶された第三者（A）の電話番号を参照し、通知を依頼した通話者（U）に読み上げて電話番号を伝えることができる。

【0004】

しかしながら、上記従来の技術では、電話番号を問い合わせた通話者（U）の携帯電話は通話中のメモリ呼出は可能だが、通話中のメモリ書込は行えない。従

って、問い合わせを依頼した通話者（U）は通話者（I）によって通知された第三者（A）の電話番号を携帯電話装置以外の他の媒体に書き取らなければならない。そして、通話者（U）が通話者（I）との通話を終了したのちに、第三者（A）が書き取った電話番号を自機の携帯電話に再度手入力し発呼しなければならない、発呼に手間がかかるという 難点 があった。

【 0 0 0 5 】

このような難点を解決する手段が、実開平 5 - 9 1 0 5 7 号に開示されている。実開平 5 - 9 1 0 5 7 号によれば、携帯電話が通話中でも使用者によるメモリ書込操作を可能にし、更にメモリに書き込まれた当該電話番号から発呼する事を可能とした。通話中でも携帯電話のメモリ書込を可能としメモリに書き込まれた電話番号からの発呼を可能にしたことで、通知を依頼した通話者（U）は第三者（A）への発呼をより少ない手間で行える。

【 0 0 0 6 】

しかしながら、特開昭 5 9 - 2 2 8 4 5 4 号に開示された技術では、通知を依頼された通話者（I）は第三者（A）の電話番号を口頭にて読み上げて相手に通知しなければならず手間がかかるという問題がある。また、読み上げミス等により誤った電話番号を相手に通知してしまうという問題がある。

【 0 0 0 7 】

また、実開平 5 - 9 1 0 5 7 号に開示された技術では、電話番号を問い合わせた通話者（U）は通知された第三者（A）の電話番号を携帯電話装置に直接手入力しなければならず手間がかかるという問題がある。また、電話番号の聞き取りミスや入力ミス等により誤った電話番号を記憶してしまい、誤った電話番号に発呼を行ってしまうという問題がある。

【 0 0 0 8 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、上記したような読み上げミス等による電話番号の通知ミスを防ぐとともに電話番号の通知を容易に行える携帯電話装置を提供することにある。

【 0 0 0 9 】

本発明の他の目的は、上述したような聞き取りミスや入力ミス等による通知された電話番号の登録ミスを防ぐとともに通知された電話番号の登録を容易に行える携帯電話装置を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明における携帯電話装置は、データを記憶する受信データ記憶部を含み構成され、通話中に通話先の携帯電話装置が電話番号データとして送信した電話番号を受信すると、使用者の操作を介さずに前記受信データ記憶部に電話番号データとして記憶し、受信データ記憶部に記憶された前記電話番号データにより発呼が行えることを特徴とする。

【0011】

受信した電話番号データを、操作者の操作を介さずに受信データ記憶部に記憶することで、受信側での聞き取りミスなどがなくなる。また、電話番号データの受信から記憶までの動作に使用者の操作を介入しないため、受信した電話番号データの登録が容易になる。

【0012】

また本発明における携帯電話装置は、使用者が携帯電話装置を操作するキー入力部と、携帯電話装置の各種状態や受信情報などを表示する表示部と、電話番号データが記憶されたメモリダイヤル記憶部と、を有する携帯電話装置において、通話中に所定の操作により、前記メモリダイヤル記憶部に記憶された電話番号データを呼び出し、この電話番号データを通話先の携帯電話装置に送信することが可能なことを特徴とする。

【0013】

メモリダイヤル記憶部に記憶された電話番号データを通話先の携帯電話装置に送信するため、送信側での通知ミスがなくなる。また、送信したい電話番号データをメモリダイヤル記憶部から呼び出すことで、使用者は電話番号を手入力するという手間から開放され、電話番号の通知が容易に行える。

【0014】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明による第1実施形態に係る携帯電話装置100の構成を示すブロック図である。本実施形態における携帯電話装置100は、使用者と携帯電話装置がやりとりを行うヒューマンインターフェース110と、各種データを記憶する記憶部120と、送受信を行う送受信部と、上記各部を制御する制御部140からなる。

【0015】

なお、制御部140はプログラム制御により発呼や着呼及び記憶部120への呼出書込等の各種動作を行う。

【0016】

ヒューマンインターフェース110は、使用者の音声を入力するマイク111と、通話相手の音声を出力するスピーカ112と使用者の操作を入力するキー入力部113と、携帯電話装置の状態を表示するLCDを含み構成される表示部114から構成される。また、マイク111から入力された使用者の音声は、音声回路115を介して制御部104に入力される。

【0017】

また、記憶部120は、電話帳として用いる電話番号等を記憶するメモリダイヤル記憶部121と、通話先の携帯電話装置から受信した電話番号データを記憶する受信データ記憶部122から構成される。受信データ記憶部122の容量としては、電話番号が10～20件記憶できる程度が好ましい。

【0018】

また、送受信部130は、無線信号を受信又は送信するアンテナ130と、信号を増幅する無線部132と、信号を変調又は復調する変復調部133から構成される。

【0019】

次に、図2乃至図5を参照して本実施例の動作について詳細に説明する。

【0020】

(送信動作)

図2及び図3を参照して、通話中において制御部140から通話先の携帯電話装置に電話番号データを送信する過程の動作、及び表示部114の画面遷移につ



いて説明する。図2は電話番号データを送信する過程の動作を示すフローチャートである。また、図3は電話番号データを送信する過程の表示部114の画面遷移を示す図である。

#### 【0021】

まず、図2を参照して通話中に通話先の携帯電話装置に電話番号データを送信する過程の動作について説明し、次に図3を参照して電話番号データを送信する過程での表示部114の画面遷移について説明する。

#### 【0022】

携帯電話装置100が通話状態にあるとき、何らかのキー入力があるキー入力部113にあると（ステップS201）、制御部140はそのキー入力があるメモリダイヤル記憶部121への検索操作なのか、もしくは、使用者が電話番号を入力しているのかを、判断する（ステップS202）。

#### 【0023】

キー入力がある検索操作指示であった場合は、制御部140は表示部114に検索画面を表示する（ステップS203）。使用者は表示された検索画面に従って所定の操作を行い、メモリダイヤル記憶部121から検索する電話番号を指定する。使用者によって指定された電話番号が検索されると、制御部140は検索した電話番号を表示部114に表示する（ステップS204）。

#### 【0024】

一方、キー入力がある電話番号の入力であった場合には、使用者によって入力された電話番号を表示部114に表示する（ステップS205）。

#### 【0025】

通話先の携帯電話装置に送信する電話番号が表示部114に表示された状態で、使用者によってキー入力部113のメニューキーが押し下げられると（ステップS206）、制御部140はメニュー選択画面を表示部114に表示する。メニュー選択画面は、「メモリダイヤルに登録」及び「送信」の2項目のメニューからなる。

#### 【0026】

使用者が「メモリダイヤルに登録」を選択した場合には、所定のメモリダイヤ

ル登録操作へと移る。なお、メモリダイヤル登録操作については、本発明とは直接の関係がないため説明を省略する。

【0027】

他方、選択画面において、使用者が送信操作を選択すると、表示部114に送信確認画面を表示する（ステップS210）。送信確認画面は、表示された電話番号を実際に通話先の携帯電話装置に送信するか否かを使用者に確認するためのものである。送信確認画面において使用者が送信を選択すると、制御部140は通話先の携帯電話装置に電話番号データの送信を開始する。更に、送信状態であることを使用者に伝えるため、表示部114に「データ送信中」と表示する（ステップS212）。

【0028】

送信が正常に終了した場合は、表示部114に「送信終了」と表示し（ステップS214）、通話状態に戻る。また、送信が失敗した場合には、表示部114に「送信失敗」と表示し（ステップS215）、通話状態に戻る。

【0029】

次に、図3を参照して、制御部140から電話番号データを送信する際の表示部114の画面遷移について説明する。

【0030】

制御部140が通話中であるときは、通話中であることを使用者に示すために、制御部140は表示部114に「通話中」と表示する。

【0031】

前述したように、本発明において、携帯電話装置100が通話中に使用者が通話先の携帯電話装置に通知する電話番号を入力する場合には、メモリダイヤル記憶部121から検索する。また、通知する電話番号がメモリダイヤル記憶部121に記憶されていない場合は、通知する電話番号をキー入力部113よりキー入力する。使用者がメモリダイヤル記憶部121から電話番号を検索すると、検索された電話番号とその電話番号に付随して記憶されている名前等を表示部114に表示する（表示D302）。また、使用者が電話番号をキー入力部113によりキー入力すると、制御部140は入力された電話番号を表示部114に表示す

る（表示D303）。

【0032】

通話先の携帯電話装置に送信するための電話番号が表示部に表示された状態で、使用者によりメニューキーが押し下げられると、制御部140は表示部114に「メモリダイヤルに登録」及び「送信」の2項目からなる選択画面を表示する（表示D305）。選択画面において、使用者が「送信」を選択した場合には、送信動作を実行するか否かを確認するため、送信確認画面を表示する（表示D306）。また、使用者が「メモリダイヤルに登録」を選択すると所定のメモリダイヤル登録操作画面へと進む。

【0033】

更に、送信確認画面において使用者が送信を選択すると、制御部140は送信を実行し、表示部103に「データ送信中」と表示する（表示D307）。送信が正常に終了すると、制御部140は送信終了画面を表示し（表示D308）、更に通話状態に戻るとともに、ふたたび「通話中」という表示を表示部114に表示する（表示D301）。また、送信が失敗すると、表示部114に「送信失敗」と表示したのち（表示D309）、通話状態に戻るとともに「通話中」という表示を表示部114に表示する（表示D301）。

【0034】

（受信動作）

図4及び図5を参照して、通話中において通話先の携帯電話装置から送信された電話番号データを携帯電話装置100が受信する過程の、動作及び表示部114の画面遷移について説明する。図4は電話番号データを受信する過程の動作を示すフローチャートである。また、図5は電話番号データを受信する過程の表示部114の画面遷移を示す図である。

【0035】

まず、図4を参照して電話番号データを受信する過程の動作について説明し、次に、図5を参照して電話番号データを受信する過程の表示部114の画面遷移について説明する。

【0036】

携帯電話装置 100 が通話中に通話先の携帯電話装置から電話番号データを受信すると（ステップ S401）、制御部 140 はデータ受信中表示を表示部 114 に表示する（ステップ S402）。電話番号データの受信が完了すると、制御部 140 は、受信した電話番号データを受信データ記憶部 122 に記憶する。更に、受信した電話番号データを表示部 114 に表示する（ステップ S404）。

【0037】

次に、受信した電話番号データをメモリダイヤル記憶部 121 に登録するか否かを使用者に確認するため、制御部 140 は「メモリダイヤルに登録？」という表示を表示部 114 に表示する（ステップ S405）。使用者が登録を選択した場合には、制御部 140 は受信した電話番号データをメモリダイヤル記憶部 121 に記憶する（ステップ S406）。登録処理が終了すると制御は通話状態に戻る。また、使用者が登録しないを選択した場合には、そのまま制御は通話状態に戻る（ステップ S407）。

【0038】

次に、図 5 を参照して、電話番号データを受信する際の表示部 114 の画面遷移を説明する。

【0039】

通話中であるときには、使用者に通話中であることを示すために、表示部 114 に「通話中」と表示している（表示 D501）。

【0040】

携帯電話装置 100 が通話中に通話先の携帯電話装置から電話番号データを受信すると、制御部 140 は表示部 114 に「データを受信しました」と表示する（表示 D502）。そして、電話番号データの受信が完了すると、受信した電話番号データを表示部 114 に表示する（表示 D503）。

【0041】

更に、受信した電話番号データをメモリダイヤルに登録するか否かを使用者に確認するため、制御部 140 は表示部 114 に「メモリダイヤルに登録？」と表示する（表示 D504）。ここで、使用者がメモリダイヤルに登録を選択すれば

、制御部 140 は登録を行い、登録が完了すると表示部 114 に「登録完了」と表示する（表示 D505）。そして、通話状態へと戻り、表示部 114 に「通話中」と表示する（表示 D501）。また、使用者がメモリダイヤルに登録を選択しない場合は、通話状態へと戻り表示部 114 に「通話中」と表示する（表示 D501）。

#### 【0042】

他方、通話を終了した後、受信した電話番号データから発呼する過程の動作について説明する。使用者はキー入力部 113 から受信データ記憶部 122 に所定の呼出操作を行い、受信データ記憶部 122 に記憶された電話番号データを表示部 114 に表示する。更に、表示部 114 に電話番号データを表示した状態で、キー入力部 113 から発呼操作を行い、受信データ記憶部 122 に記憶された電話番号データから発呼を行う。

#### 【0043】

通話中にメモリダイヤル記憶部 121 に記憶された電話番号を、通話先の携帯電話装置に送信できるようにしたことで、電話番号の通知先に正確な電話番号を送信することができる。また、通知したい電話番号をキー入力により入力できるようにしたことで、メモリダイヤル記憶部 121 に記憶されていない電話番号も通話先に通知することができる。

#### 【0044】

図 6 は、本発明による第 2 実施形態に係る携帯電話装置 100A の構成を示すブロック図である。なお、第 1 実施例と同様の構成である部分に関しては、図 1 と同じ符号を付してある。

#### 【0045】

使用者の各操作はキー入力部 113 を介して制御部 104 に入力される。制御部 104 はプログラム制御により発呼や着呼及び記憶部 120 への呼出書込等の各種動作を行う。また、LCD を含み構成される表示部 114 は、使用者に対し制御部 140 の状態や受信情報などの各種情報を表示する。

#### 【0046】

この装置では、使用者が所定の操作を行った後、音声にて電話番号をマイク 1

11に入力すると、音声認識部610が機能する。音声認識部610は、入力された音声信号を音声認識により文字データに変換し、電話番号データとして制御部140へと出力する。制御部140は、入力された電話番号データを表示し、確認操作がされるとデータを送受信部130へと出力し、更に送受信部130は通話先の携帯電話装置へと送信する。

【0047】

図7は、使用者が音声にて電話番号を携帯電話装置100Aに入力し、使用者の入力に基づき携帯電話装置100Aが通話先の携帯電話装置に電話番号データを送信する過程の動作を示したフローチャートである。図7を参照して、音声入力により通話先の携帯電話装置に電話番号データを送信する過程の動作について説明する。

【0048】

使用者が所定の音声入力指示を示す操作をキー入力部113に入力すると（ステップS701）、制御部140は表示部114に音声入力画面を表示する（ステップS702）。使用者は表示部114に表示された音声入力画面に従い、電話番号を音声にてマイク111へと入力する。

【0049】

入力された音声はマイク111にて電気信号に変換され、音声認識部140へと入力される。音声認識部610は入力された音声信号を音声認識により文字データに変換し制御部140へと出力する。制御部140は音声認識部610より入力された電話番号データを表示部114に表示する（ステップS703）。

【0050】

送信する電話番号が表示部114に表示された状態で、使用者がメニューキーを押し下げると、制御部140はメニュー選択画面を表示部114に表示する。メニュー選択画面は、「メモリダイヤルに登録」及び「送信」の2項目のメニューからなる。使用者が「メモリダイヤルに登録」を選択した場合には、所定のメモリダイヤル登録操作へと移る。

【0051】

他方、選択画面において、使用者が送信操作を選択すると、表示部114に送

信確認画面を表示する（ステップ S 7 0 7）。送信確認画面は、表示された電話番号を実際に通話先の携帯電話装置に送信するか否かを使用者に確認するためのものである。送信確認画面において使用者が送信を選択すると、制御部 1 4 0 は通話先の携帯電話装置に電話番号データの送信を開始する（ステップ S 7 0 9）。更に、送信状態であることを使用者に伝えるため、表示部 1 1 4 に「データ送信中」と表示する（ステップ S 7 0 9）。

## 【 0 0 5 2 】

送信が正常に終了した場合は（ステップ S 7 1 0）、送信終了画面を表示し（ステップ S 7 1 1）、通話状態に戻る。また、送信が失敗した場合には、送信失敗画面を表示し（ステップ S 7 1 2）、通話状態に戻る。

## 【 0 0 5 3 】

使用者が音声にて送信したい電話番号を入力できるようにしたことで、送信したい電話番号がメモリダイヤル記憶部 1 2 1 に記憶されていない場合でも、キー入力部からキー入力する必要がある。

## 【 0 0 5 4 】

## 【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明によれば、携帯電話装置で通話中に通話先の携帯電話装置に電話番号を通知する際、電話番号をメモリダイヤル記憶部から検索し、通話先の携帯電話装置に電話番号を電話番号データとして送信するため、送信側での通知ミスがなくなる。また、通話先の携帯電話装置から電話番号データを受信すると、受信した電話番号データを携帯電話装置が受信データ記憶部に操作者の操作を介さずに記憶する。つまり、電話番号の受信から記憶までの動作の間に使用者の操作が介入しないため、受信側でも電話番号の聞き取りミス等がなくなる。

## 【 0 0 5 5 】

また、送信したい電話番号をキー入力部からのキー入力を可能にしたことで、メモリダイヤル記憶部に記憶されていない電話番号についても送信することができ、かつ、受信側での聞き取りミスを防げる。

## 【 0 0 5 6 】

更に、本発明によれば、携帯電話で通話中に通話先の携帯電話装置に電話番号を通知する際に、携帯電話装置のメモリダイヤル記憶部に送信したい電話番号が記憶されていない場合、電話番号を使用者に音声にて入力させ、音声認識部にて電話番号データに変換し送信するため、使用者は電話番号をキー入力するという煩わしさから開放される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明による第 1 実施形態に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図である。

【図 2】 電話番号データを送信する過程を示すフローチャートである。

【図 3】 電話番号データを送信する過程の表示部の画面遷移を示す図である。

【図 4】 電話番号データを受信する過程を示すフローチャートである。

【図 5】 電話番号データを受信する過程の表示部の画面遷移を示す図である。

【図 6】 本発明による第 2 実施形態に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図である。

【図 7】 音声入力により電話番号データを送信する過程を示したフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 0 0 (1 0 0 A) 携帯電話装置
- 1 1 0 ヒューマンインターフェース
- 1 1 1 マイク
- 1 1 2 スピーカー
- 1 1 3 キー入力部
- 1 1 4 表示部
- 1 1 5 音声回路
- 1 2 0 記憶部
- 1 2 1 メモリダイヤル記憶部
- 1 2 2 受信データ記憶部

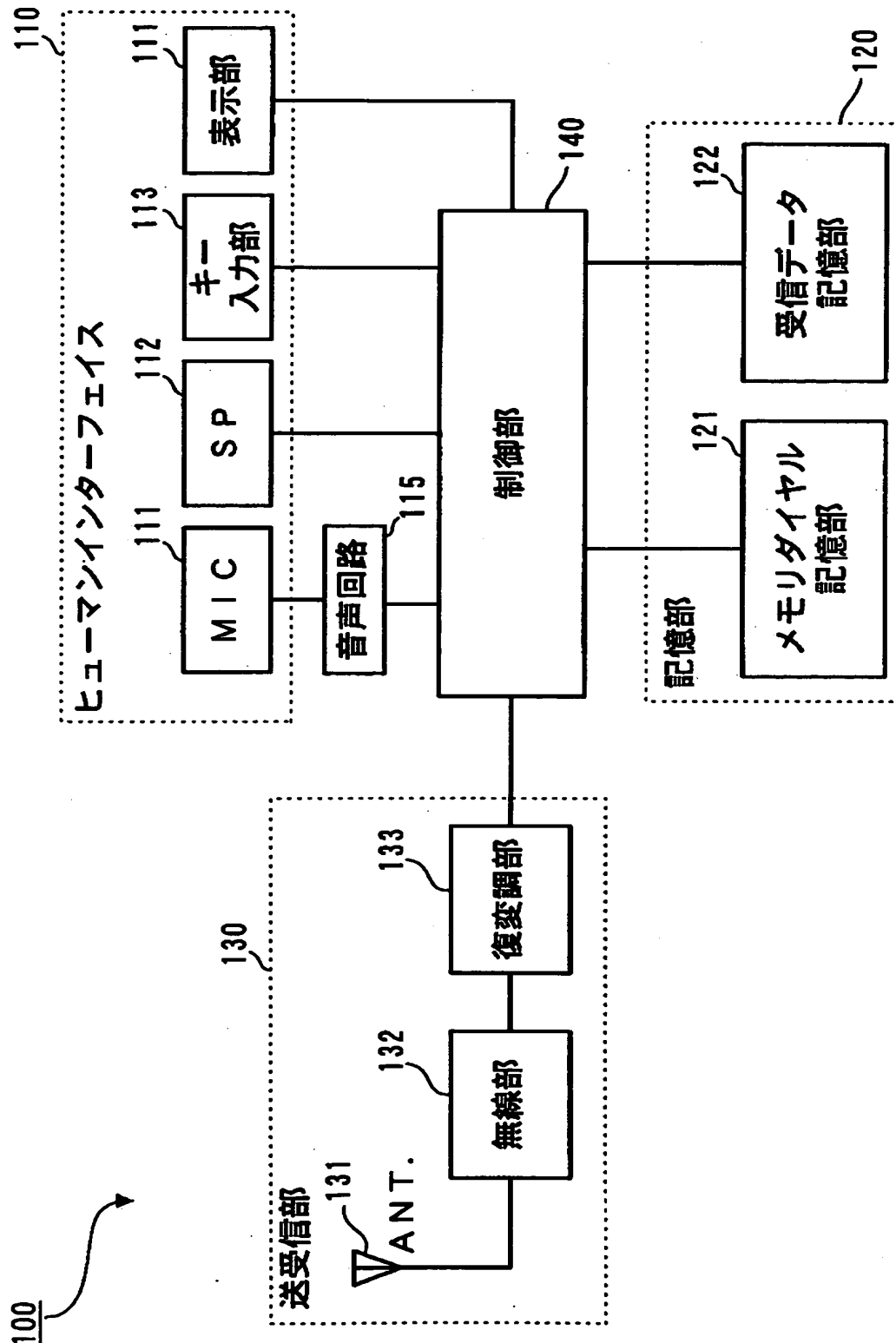


- 1 3 0 送受信部
- 1 3 1 アンテナ
- 1 3 2 無線部
- 1 3 3 変復調部
- 1 4 0 制御部
- 6 1 0 音声認識部

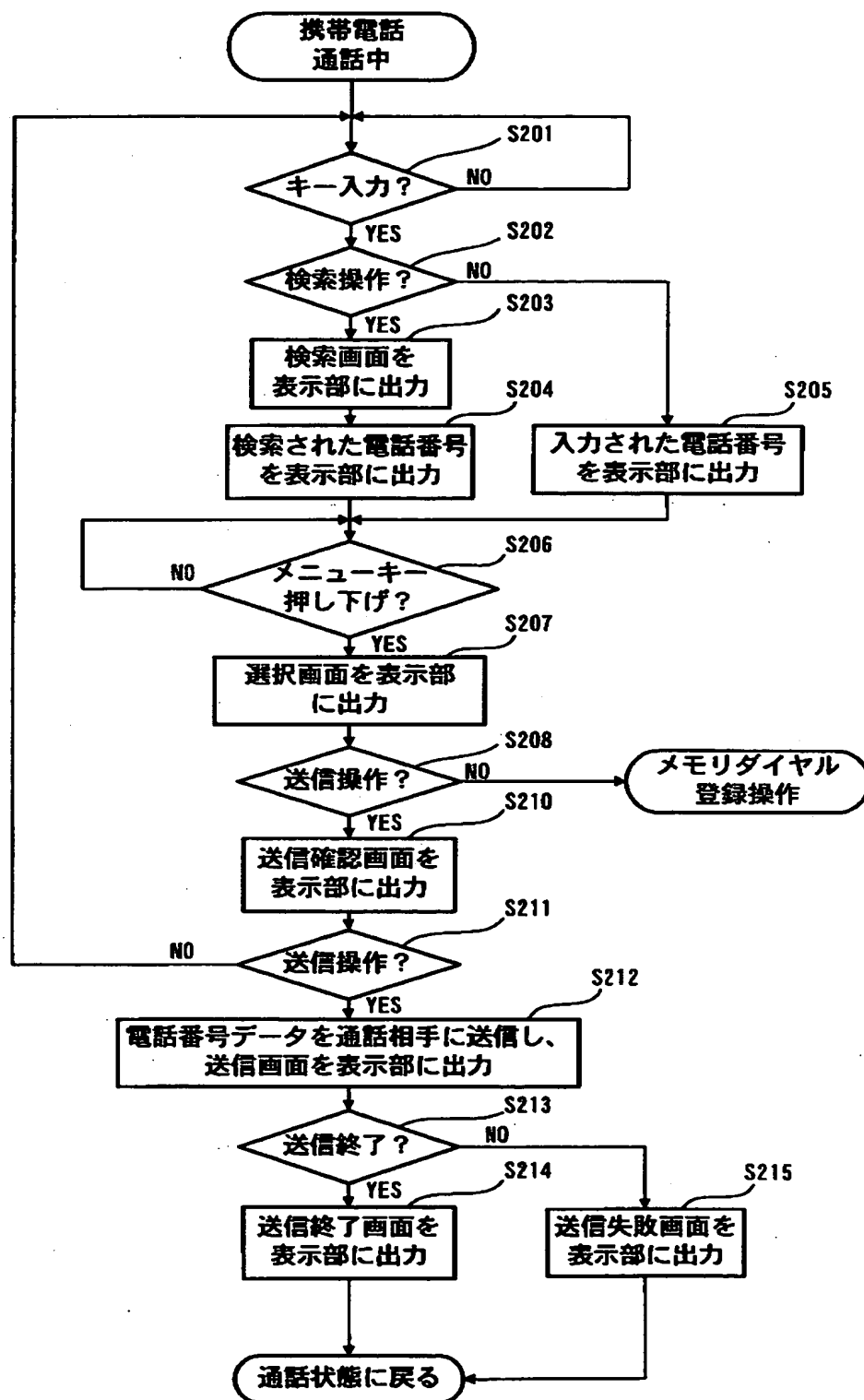
【書類名】

図面

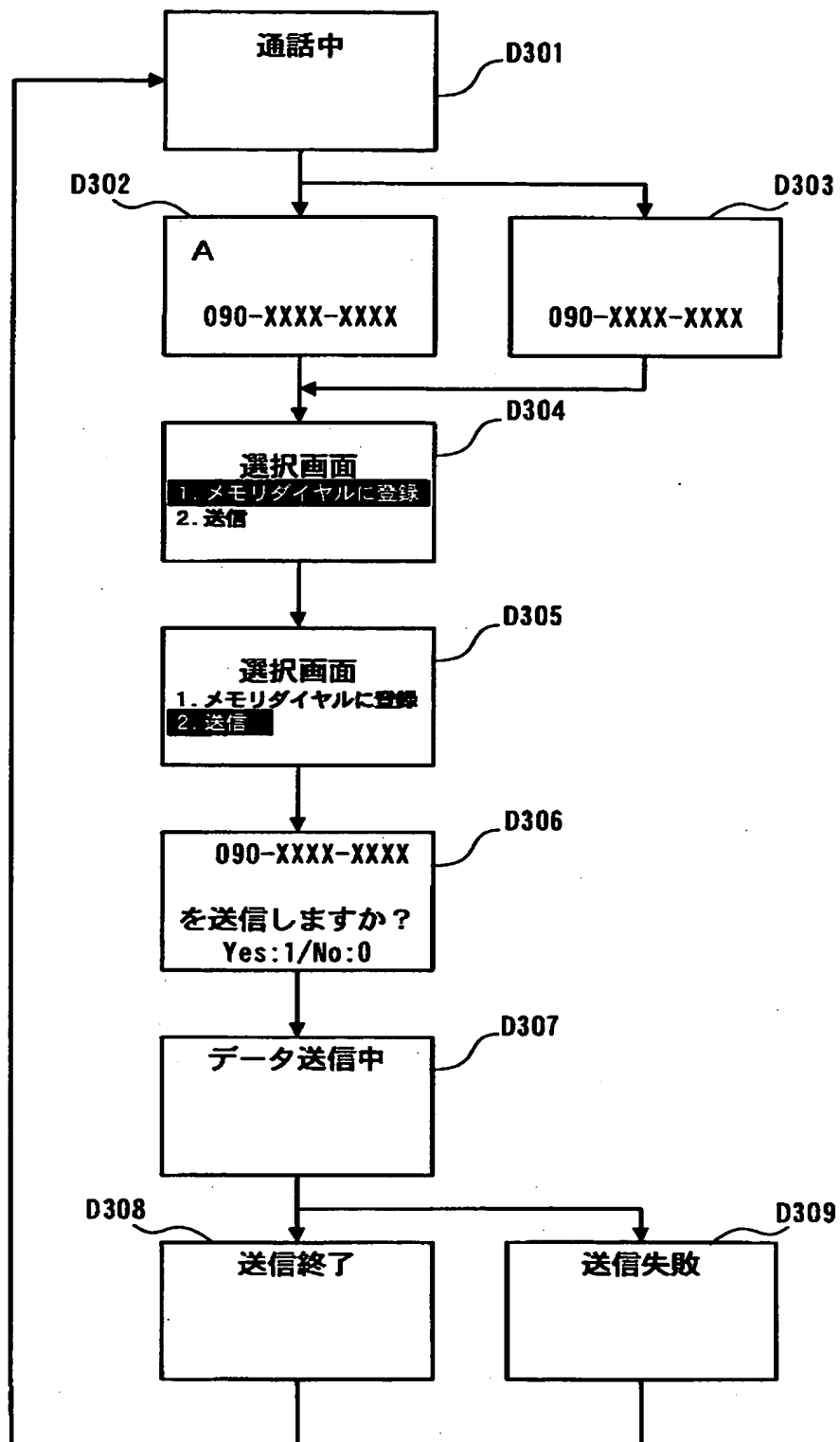
【図 1】



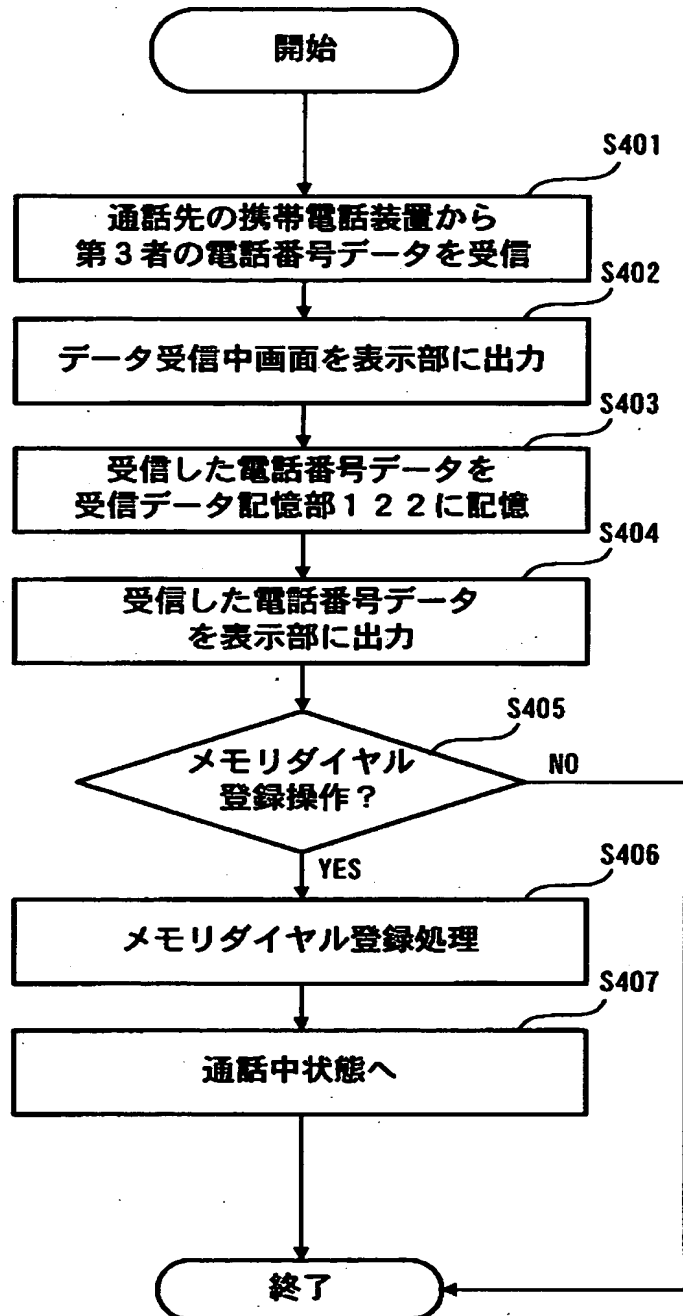
【図 2】



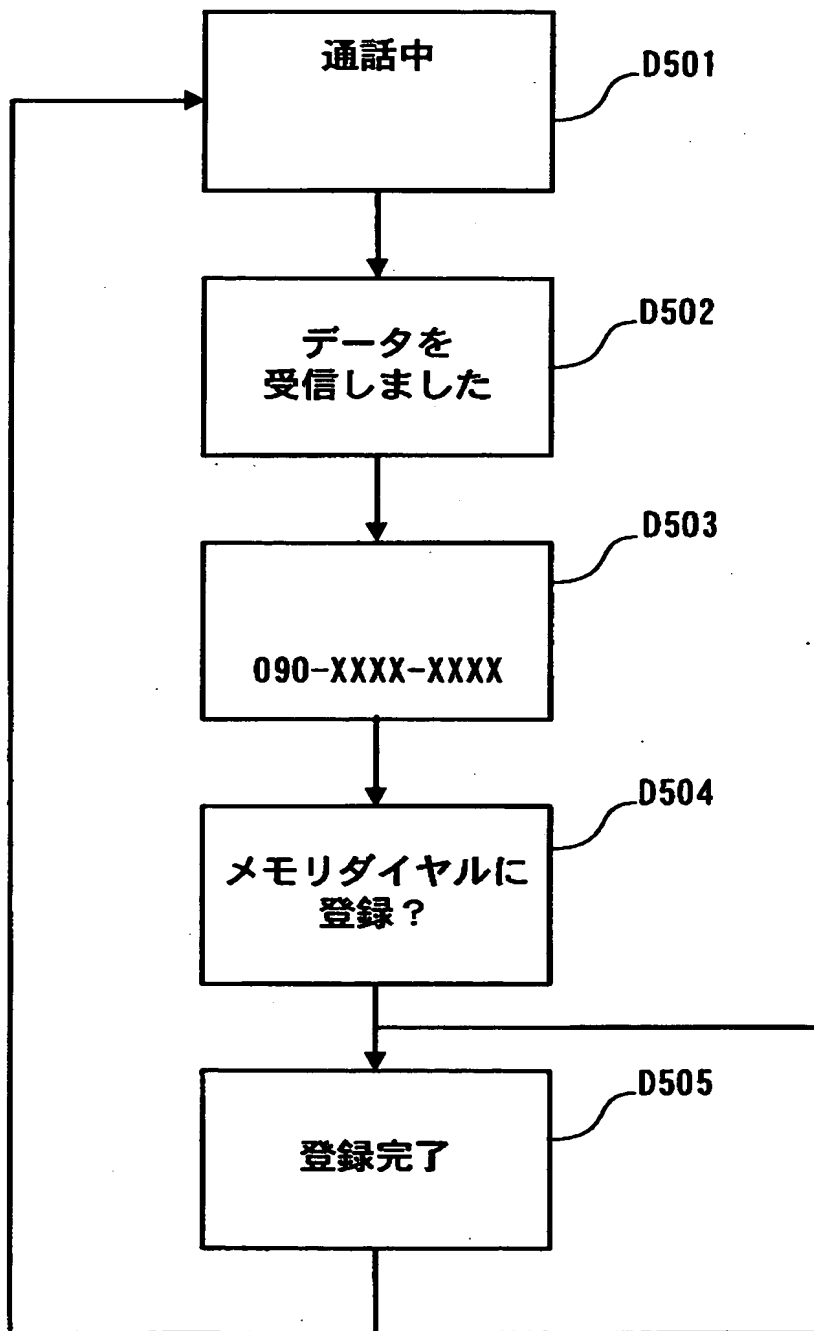
【図 3】



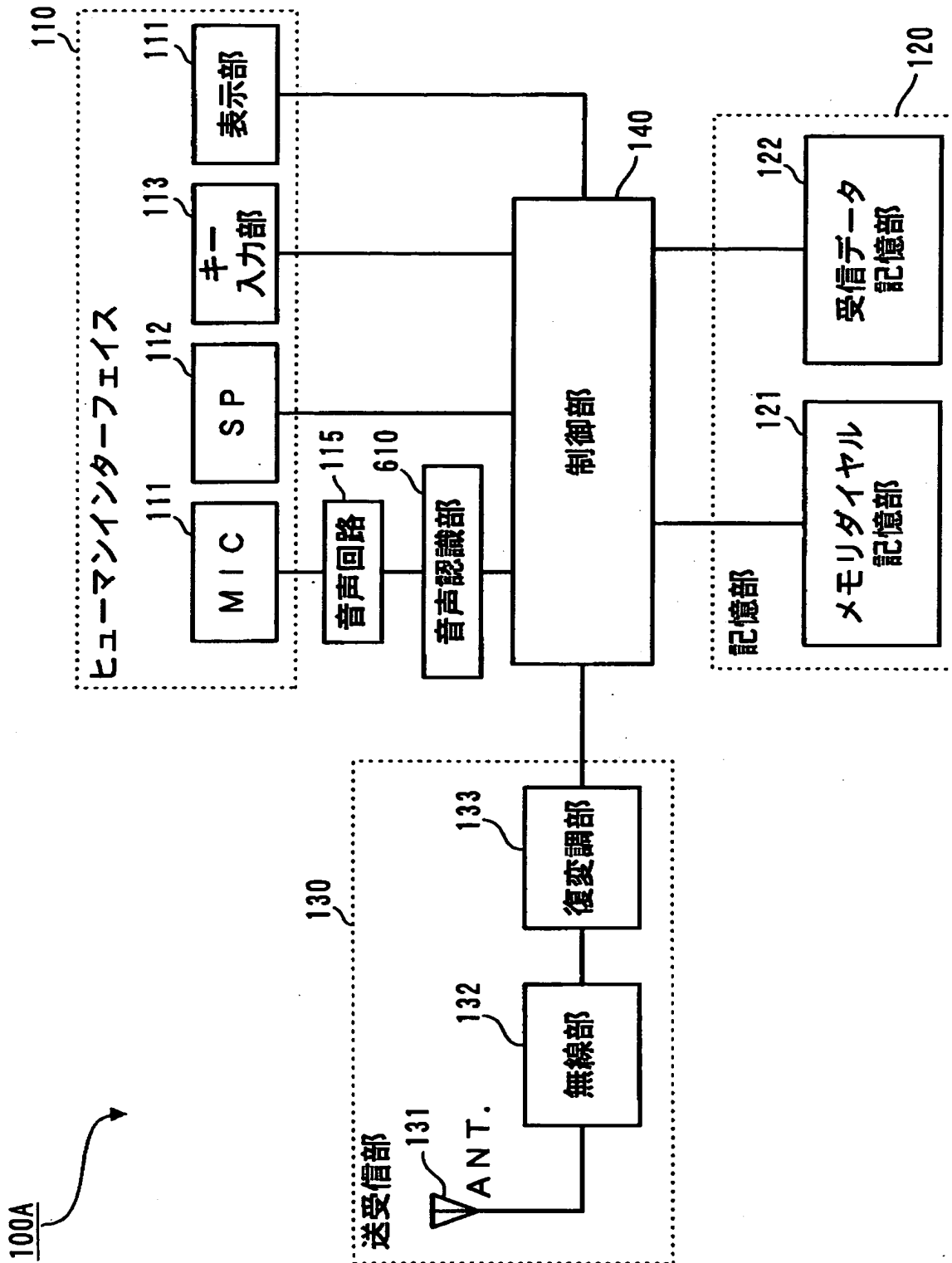
【図 4】



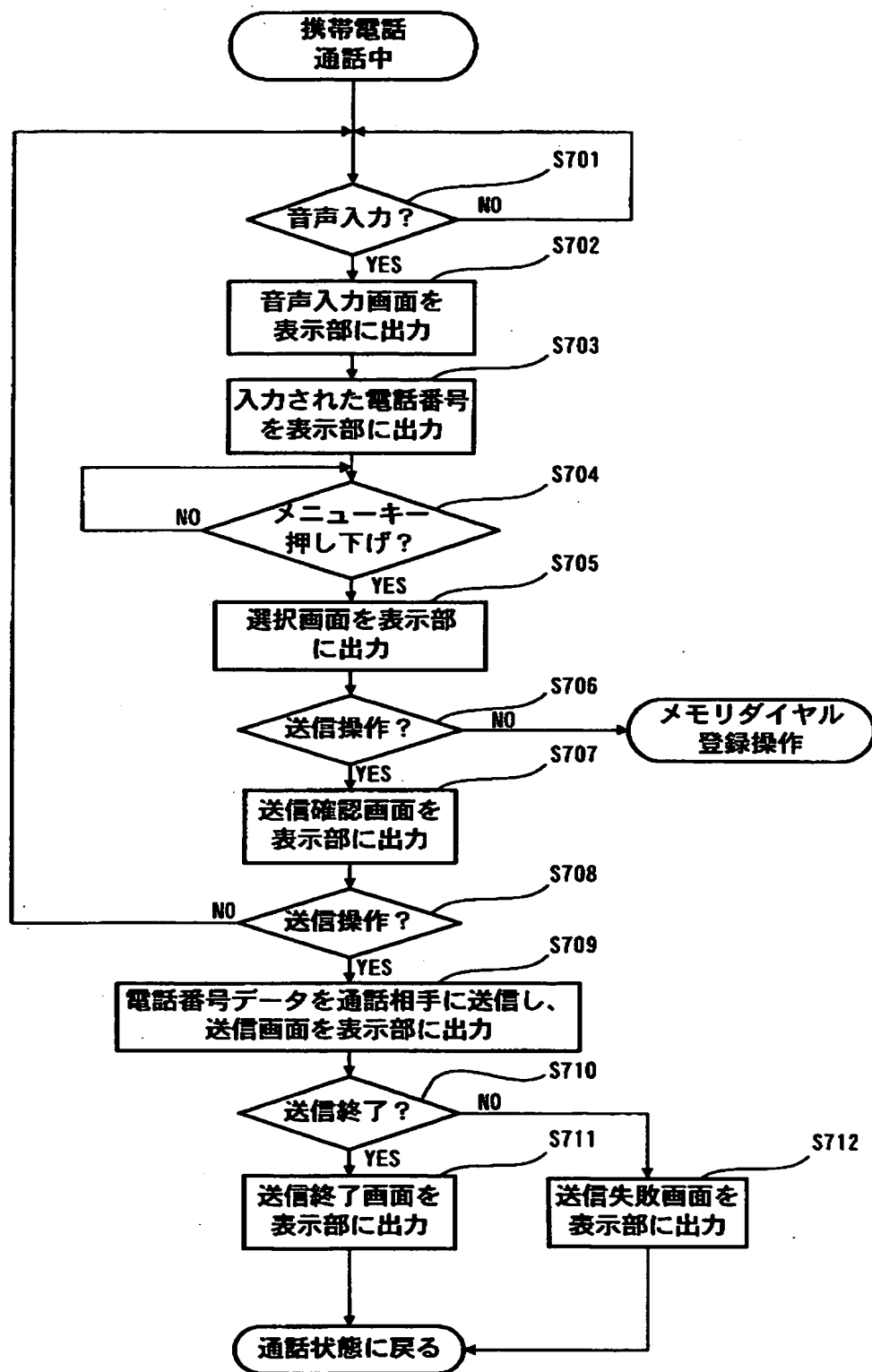
【図 5】



【図 6】



【図 7】





【書類名】                      要約書

【要約】

【課題】 通話状態にある携帯電話装置間で、第3者の電話番号の照会を行う際に、人為的な照会ミスを防ぐとともに照会を容易に行える携帯電話装置を提供する。

【構成】 通話中に通話先の携帯電話装置から送信されてきた電話番号データを記憶する受信データ記憶部を備え、前記受信データ記憶部に記憶された電話番号データを基に発呼が行えるように携帯電話装置を構成する。送信する電話番号データはキー入力しても良く音声認識に依っても良い。また、電話番号を記憶するメモリダイヤル記憶部を備えここに記憶された電話番号を通話先の携帯電話装置に送信するようにしても良い。

【選択図】                      図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	平成 1 1 年 特許願 第 2 8 5 6 3 1 号
受付番号	5 9 9 0 0 9 8 0 3 9 5
書類名	特許願
担当官	坪 政光 8 8 4 4
作成日	平成 1 1 年 1 0 月 1 8 日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成11年10月 6日
【特許出願人】	
【識別番号】	390000974
【住所又は居所】	横浜市港北区新横浜三丁目 1 6 番 8 号 (NEC 移動通信ビル)
【氏名又は名称】	日本電気移動通信株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100097157
【住所又は居所】	東京都千代田区九段北 4 丁目 1 番 5 号 市ヶ谷法 曹ビル 2 0 8 号室
【氏名又は名称】	桂木 雄二

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [390000974]

1. 変更年月日 1994年 2月 7日

[変更理由] 住所変更

住 所 横浜市港北区新横浜三丁目16番8号 (NEC移動通信ビル)

氏 名 日本電気移動通信株式会社